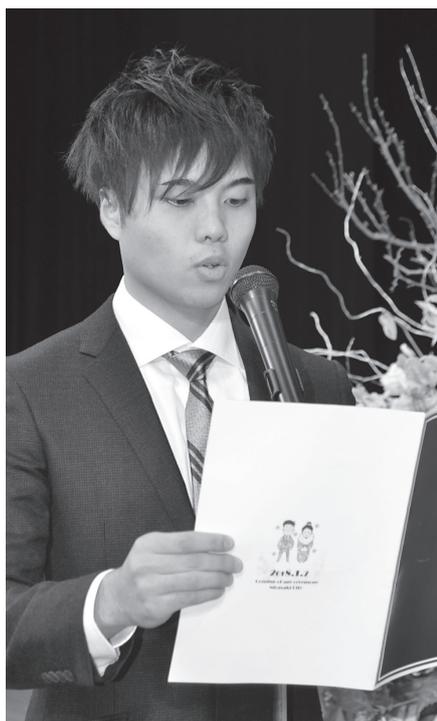




平成30年成人式

決意新たに新成人350人が大人への第一歩を踏み出す



成人の誓いを述べる篠原皇至さん

平成30年荊崎市成人式が1月7日(日)、東京エレクトロン荊崎文化ホールで行われました。今年の新成人は350人(男性183人、女性167人)で、会場内は、振り袖やスーツ、羽織袴などに身を包み、希望に満ちた表情の新成人で賑わっていました。

式典では、内藤久夫市長の式辞のあと、新成人を代表して篠原皇至さんが「私達は、これから成人として、一人ひとりの責任がこれまで以上に重くなります。軽率な行動は慎み、良識ある行動をとり、それぞれの夢に向かい、社会に貢献できるよう努めてまいります。荊崎で生まれ育った誇り、そして成人としての決意を心に刻み、これからの人生を歩んでいきたいと思いま

す。」と誓いの言葉を述べました。

新成人が迎えたこの1年は、荊崎工業高校出身の文田健一郎選手がレスリング世界選手権で金メダルを獲得し、日本男子34年振りの快挙を成し遂げたという、輝かしい出来事がありました。文田選手の活躍は日本中に感動を与え、新成人にとっても、同じ荊崎で生まれ育った先輩が世界の舞台で日の丸を掲げる姿に、目標に向けて謙虚に努力を積み重ねることの大切さを感じたことだと思えます。

日々変化を続ける厳しい環境の中、これからの社会を担っていく新成人の皆さんは、より一層責任が重くなることでしょう。これからの社会で活躍することを期待しています。



メッセージを贈りあう小澤佳恋さん(左) 親子

今年の成人式では、新たな企画として、子から親へ、親から子へメッセージを贈る「親子で贈るメッセージ」が行われました。生まれてから成人になるまでの20年間の思い出や感謝の気持ちを書き綴った手紙を互いに朗読し、会場は溢れんばかりの感動に包まれました。

また、ミアキスと成人式実行委員会の企画で、新成人に向けて「アダルトニューニラサキ」という冊子が配布されました。この冊子は、進学な

どで県外に出た若者や葦崎の魅力にまだ気付いていない若者に向けて、このまちの隠れた魅力やまちの人の温かさを届けたいという想いで制作されました。新成人による将来に向けた抱負の宣言や当時通っていた学校でのインタビュー、一度は行ってみたいお店の紹介などを掲載しています。式典後の実行委員会の自主企画では、地域や市内事業所の皆さんからの新成人に向けた応援メッセージ動画を流しました。



各地区ごとの集合写真

